

2026年度・芸術工学実習（D）6 のすすめかた 情報環境デザイン学科

■ テーマ

共通課題：「境界をデザインする」

■ 参加教員

小俣・栗原・小林・小鷹・中川・塙・針貝・松宮（主担当）

■ 実習概要

本実習では、「境界をデザインする」を共通テーマとし、芸術工学における多様な表現・設計・技術を横断しながら作品制作を行います。

ここでいう「境界」とは、例えば、

- * 人と人
- * 人と機械
- * 現実と仮想
- * 身体と情報
- * 音と空間
- * 自然と人工
- * アナログとデジタル
- * 個人と社会

など、さまざまな関係性を意味します。

学生は各自が関心を持つテーマを設定し、これまでの実習や研究活動で身につけた知識・技術を活かして制作を進めます。表現媒体は問いません。また、研究室で取り組みたい研究テーマを発展させることも歓迎します。

制作では、

問題設定 → リサーチ → 試作 → プレゼンテーション → フィードバック → 改善

というプロセスを繰り返しながら、作品の完成度だけでなく、そこに至る制作プロセスや考察も重視します。

■ 課題「境界をデザインする」について

芸術工学では、異なる分野や価値観を結びつけることで、新しい体験や価値を生み出します。本課題では、皆さんが考える「境界」を自由に設定してください。

例えば、

- * AIと創作の境界
- * 音と映像の境界
- * 身体とインタラクション
- * データと表現
- * プロダクトとサービス
- * アートと社会課題
- * 都市と自然

などが考えられますが、これらに限定するものではありません。

制作にあたっては、次の点を説明できるようにしてください。

1. どのような「境界」に着目したか
2. なぜその境界を扱うのか
3. どのような芸術工学的アプローチを用いたか
4. 制作を通してどのような知見が得られたか

■ スケジュール

第1週 9月28日（月）

ガイダンス・テーマ説明【対面】 **[M101 全員集合]**

課題テーマと実習全体の進め方について説明します。

第2週 10月5日（月）

企画発表【対面・教員グループ別・2分】 **[A203 or A204 or A305 下記グループ参照]**

以下の内容を簡潔に発表してください。

- テーマ
- 問題意識
- 参考事例
- 制作方法

第3週 10月12日（月）

制作・教員相談

各自で制作を進めます。

第4週 10月19日（月）

制作・教員相談

各自で制作を進めます。

第5週 10月26日（月）

中間発表【対面・教員グループ別・3分】[\[A203 or A204 or A202 下記グループ参照\]](#)

以下の内容を中心に、現在の進捗を発表してください。

- 試作品
- 現在までの成果
- 問題点
- 今後の計画

第6週 11月2日（月）

制作・教員相談

中間発表で得たフィードバックを踏まえて制作を進めます。

第7週 11月9日（月）

制作・教員相談

最終発表に向けて作品を仕上げます。

第8週 11月16日(月)

最終講評会【対面・3分】**[M101 全員集合]**

作品の展示・デモンストレーション・プレゼンテーションを行います。

■ 対面発表・教員グループについて

2025年度と同様に、企画発表および中間発表は、専門分野の異なる教員による複数のグループに分かれて実施します。

【教員グループ】

グループA：小林・埴（工学系・デザイン系）**[A204 (10/5 and 10/26)]**

グループB：小鷹・中川・松宮（メディア系）**[A305 (10/5) A202 (10/26)]**

グループC：小俣・栗原・針貝（美術系）**[A203 (10/5 and 10/26)]**

学生は、3つのグループの中から、自分の制作内容や相談したい専門分野に応じて発表するグループを選択してください。

第2週の企画発表と第5週の中間発表では、異なるグループを選択しても構いません。制作を進める中で、必要となる専門的な視点が変化した場合には、積極的に異なる分野の教員からフィードバックを受けることを推奨します。

各グループの発表場所については、授業開始までにLiveCampus等で案内します。発表日は、授業開始時刻までに指定された発表場所へ集合してください。**[上記参照]**

なお、第1週のガイダンスおよび第8週の最終講評会については、原則として全員で実施します。

■ 制作期間の進め方

制作期間にあたる第3・4・6・7週は、各自が主体的に制作を進めてください。

各週、LiveCampusのアンケートに、

- その週に行ったこと

- 現在の進捗状況
- 次に行うこと
- 制作上の問題やアイデア

などを簡単なテキストで記入してください。

制作週については、LiveCampus のアンケート提出をもって出席とみなします。

制作について教員への相談を希望する場合は、相談を希望する週の前の金曜日までに、各自で担当教員へメール等で連絡し、相談日時を調整してください。相談は対面・オンラインのいずれでも構いません。具体的な方法については担当教員と相談してください。

なお、

- 第1週：ガイダンス・テーマ説明（全体）
- 第2週：企画発表（教員グループ別）
- 第5週：中間発表（教員グループ別）
- 第8週：最終講評会（全体）

は対面で実施します。必ず出席してください。

■ プレゼンテーションについて

企画発表・中間発表・最終講評会では、単に作品を紹介するだけでなく、

- * 問題設定
- * 制作プロセス
- * 試行錯誤
- * 芸術工学としての意義

について、自分とは異なる専門分野の学生や教員にも理解できるように説明することを意識してください。

■ 成績評価

課題制作・発表：90点

- * 企画発表：10点
- * 中間発表：30点

* 最終講評会：50点

合計：90点

■ 評価基準

以下の項目を総合的に評価します。

- * 問題設定の明確さ
- * コンセプト
- * 芸術工学としての独創性
- * 技術・表現の完成度
- * プレゼンテーション
- * 制作プロセス
- * フィードバックを受けた改善

■ 注意事項

- * 制作期間中（第3・4・6・7週）は、**LiveCampusのアンケート提出をもって出席とします。**
- * 教員への相談を希望する場合は、各自で担当教員へ事前に連絡してください。
- * 研究室や大学の設備を利用する場合は、安全管理を徹底してください。
- * 他者の著作物、既存作品、データ、プログラム、生成AI等を利用した場合は、出典および利用方法を明記してください。
- * 病欠等については、大学の規定に従って必要な手続きを行ってください。
- * 授業全般に関する問い合わせは、主担当教員まで連絡してください。

主担当：松宮圭太

matsumiya@sda.nagoya-cu.ac.jp